

夏企画

廻れ！地名碑！！～公園北側編～

石碑発見
の旅路

散歩、してますか？

JR 古河駅から車で10分、開園総面積22.4ha、緑あふれる総合公園はウォーキングにぴったりです。ですが、「目的もなく歩くのはつらい」「もう飽きた」という方も中にはいらっしゃるかと思います。

今回、そんなあなたにご提案するのがコレ、「地名碑オリエンテーリング風散歩」！

やり方は簡単。園内に点在している地名碑を探しながら歩くだけ。本来のオリエンテーリング競技でのチェックポイントの代わりです。

全てを巡ると、総合公園の隠された真実(公園設計者の意図やこの地の歴史)が見えてきます…。今回は公園北側(桃林や蓮池の方)のご紹介です！

公園北側てくてくマップ



実は、公園内の道や橋には名前が付いています。その多くが鴻巣村が生きていたころのこあざ小字です。その内、代表的なものを石碑に残しました。

また、公園外の小字を引用しているものもたくさんあります。当時の小字を、「外側であっても打ち捨てておくには惜しい」と考えた設計者の粋な計らいですね。

公園北側には12基の地名碑があります。碑の表書きをまとめたので、探してみてください。



← 地名碑

●古河公方広場 二入川(管理棟横)

この地図にはないが、管理棟の南に広がる森に古河公方館があったといわれている。

●中山の小川(中山のせせらぎ南側)

このあたり一帯はかつて「中山」と呼ばれていて、そこから「中山台」という名前をつけた。

●元屋敷の桃林(元屋敷のあすまや付近)

この辺りが昔「元屋敷」と呼ばれていたため。

●ラン塔の泉(アヤメ畑の近く)

ラン塔とは「卵塔」と書き、無縫塔の別名。僧侶の墓の事。そういえば近くにお墓があります。

●トラエモン道(花菖蒲田西)

かつてこの付近に「トラエモンさん」の家があり、小字名として残っていたため、そこから命名。

●浄円坊の池

この場所の旧小字名「浄円坊」に由来。資料は残っていないが、寺院に関する何か。ミステリーです！

●神明前の大エノキ(遊具広場北西)

旧小字「神明前」から。かつて牧野地口を出たところに「新明神社」があり、その南のため。

●牧野地道(芝生広場北側)

旧牧野地村に至る道。公園出入口名は「牧野地口」。

●まくらが浜 会わずの渡し

「まくらが」は許我にかかる枕詞で、元々は地名とされている。裏書は、「あなたに会いたい」という歌。

●雪華園(ジェラテリア前)

自然と人間の関わりを八つの景色に表した庭。ジェラテリア(というカフェ)内部からも眺められる。

●御所沼(管理棟西側)

現在立入禁止になっている区画なので、裏書を書きます。

「古河公方館の周りに広がるこの沼は御所沼と呼ばれていた。昭和二十六年水田として埋め立てられたが、公園事業により平成七年春、復元された。」